



谷 禎一 議員

町内歩道及び自歩道について町の考えは

問 高齢化が進むなか、街路樹による電線電話線への障害、舗装の亀裂、通行幅狭小など問題がある自歩道について、警察庁から見直し通達もあり、町は「都市計画マスタープラン」とも整合性を図り、最終的な完成形を提示し、どの様に改修していくのか。昨年に引き続き問う。

山村町長 現在、町内に8路線、約9.8kmあり、植栽の刈り込みで有効幅確保しているが、「安全対策基礎調査」を行ない、具体策をまとめて協議したい。バリアフリー等については、県の事例とも合わせて都市計画審議会で研究する。

余剰資金で「ゴミ袋の一部無料配布を

問 毎年ごみ袋の有料化による収入が約3,000万円あり、関係基金残額が、現在3,013万円と

なっている。リサイクルの分別やごみ削減の努力も定着してきている中、住民のみなさんにさらなる「ゴミ軽減をお願いして、「一部ごみ袋の無料配布」を実施しては。

山村町長 基金は集団回収、生ごみ処理機助成金、清掃キャンペーンの運営費で利用。町のごみ処理には毎年8億4200万円支出し、3億2000万円の収入、差引5億2200万円が必要。町民一人当たり15,160円で現在予定はない。

地域の歴史的、文化的財産等の有効利用を

問 広陵町は過去3年税収も伸びず、98億円の一般会計予算となっている。自主財源構成比率（町独自で調達できる財源）は毎年低くなり、昨年は45%となった。まず、広陵町指定文化財の「立山まつり」や「天神社綱打ち」の文化的財産や、巢山古墳などの歴史文化財資源を観光資源としての積極的な有効活用を提案する。

山村町長 パンフレットなど配布しているが、知名度の点から町単独では限界があり、「葛城地域振興懇話会」で協議中。観光資源活用を地域産業、農業と共に考えている。優良企業の誘致など、町税確保についても機構改革を行なう。



坂野佳宏 議員

小中学校のエアコン設置について

問 3月議会で前町長、前教育長より設置に向けて前向きな回答をいただいている。新町長として、前任者の考え方を継いで設置する方向に変わりはな

山村町長 先の3月議会でもご質問をいただいておりますが、今年の夏は、雨が少なく非常に高い気温が続き、熱中症の発症も多かつたため、その対策に苦慮したところでございます。

小・中学校のエアコン設置につきましては、児童、生徒の身体的負担の軽減と、教育環境の向上のため、空調機と太陽光発電を組み合わせ、また、電力だけでなく、ガスを利用するシステムなども提案していただくようお願いしているところで

具体的に出てきましたら、お知らせし、今後について協議させていただきます。と思っています。

問 答弁に提案のお願いしているとの言葉がありました。が、何処かに発注されているのか。

中尾副町長 メーカー提案を受けている。現場確認を申し出たメーカーには現場立ち入りを認め、提案書 wait している所である。

